

日時

令和4年 1月16日(日)

午後1時30分から

会場

越後妻有文化ホール「段十ろう」

十日町市本町一丁目上508番地2

参加費無料

【要事前申込み】

プログラム

■ 基調講演

◇ 講師 丁野 朗 氏

公益社団法人日本観光振興協会総合研究所顧問

■ 事例発表

日本遺産「珠玉と歩む物語」小松
～時の流れの中で磨き上げた石の文化～
石川県小松市にぎわい交流部長

望月 精司 氏

日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群
～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～
福井県小浜市文化交流課日本遺産・都市交流グループ主幹

下仲 隆浩 氏

※小松市・小浜市は「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～」(シリアル型日本遺産)の認定も受けています。

■ パネルディスカッション

◇ アドバイザー 丁野 朗 氏

◇ パネリスト 望月 精司 氏

下仲 隆浩 氏

滝沢 梢 氏 (有限会社瀬長商店(染織材卸売業) 代表取締役)

弓削 朋子 氏 (ゆげ(会席料理店) 店主)

◇ コーディネーター 渡辺 正範 氏 (十日町市教育長)

● 申込み/問合せ

十日町市教育委員会事務局文化観光推進室

(十日町市文化観光推進協議会事務局)

☎ 025-755-5133 FAX 025-768-3161

Mail t-bunka-kanko@city.tokamachi.lg.jp

● 主催/十日町市文化観光推進協議会

● 共催/信濃川火焰街道連携協議会

お知らせとお願い

- 新型コロナウイルス感染防止対策をとって実施します。
- 入場の際は、手指消毒、検温、マスク着用、来場者名簿の記載にご協力ください。
- 新型コロナウイルスの感染状況により内容を変更または中止することがあります。



日本遺産 究極の雪国とおかまち
スノウリッチ・ストーリーズ

Snow Rich.
Tokamachi!



信濃川火焰街道

日本遺産シンポジウム

究極の雪国とおかまち
—真説!— 豪雪地ものがたり—

「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化

二つの日本遺産からひらく十日町市の文化観光

十日町市には、「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」(平成28年度認定/十日町市・新潟市・三条市・長岡市・津南町・魚沼市のシリアル型)と「究極の雪国とおかまち—真説!—豪雪地ものがたり—」(令和2年度認定/地域型)の二つの日本遺産ストーリーがあります。それぞれの認定ストーリーを活用した文化観光推進について考えます。

マ・ヤンソン / MADアーキテクト [Tunnel of Light]
(Photo by Tsutomu Yamada)



日本遺産シンポジウム

■令和4年1月16日(日) 午後1時30分～(開場/午後1時) ■越後妻有文化ホール「段十ろう」

■「日本遺産シンポジウム」プログラム

1. 開会
2. 十日町市の認定ストーリー紹介
3. 基調講演 丁野 朗氏
演題「文化で地域をひらく」～文化観光の考え方と手法～
4. 事例発表 石川県小松市・福井県小浜市
5. パネルディスカッション 「文化観光の推進に向けて」

アドバイザー 丁野 朗氏
パネリスト 望月 精司氏
下仲 隆浩氏
滝沢 梢氏
弓削 朋子氏
コーディネーター 渡辺 正範氏

6. 開会

基調講演 講師/パネルディスカッションアドバイザー



ちょうの あきら
丁野 朗氏

(公社)日本観光振興協会総合研究所顧問
元東洋大学大学院国際観光学部客員教授
文化庁日本遺産審査評価委員

マーケティング・環境政策のシンクタンクを経て、1989年(財)余暇開発センター移籍。「ハッピーマンデー制度」の提唱、産業観光などの地域活性化事業に携わる。2002年(財)日本生産性本部、2008年(公社)日本観光振興協会常務理事総合研究所長を経て、2017年よりANA総合研究所シニアアドバイザー、2020年より日本観光振興協会総合研究所顧問に就任。観光庁、経済産業省、スポーツ庁、文化庁(日本遺産選定委員、文化観光計画認定委員)などの関係省庁委員や呉市(顧問)、横須賀市、小田原市、高岡市(参与)、舞鶴市、越谷市など各地の自治体観光アドバイザーなどを務める。他に日本商工会議所観光専門委員会学識委員、全国産業観光推進協議会副会長、全国近代化遺産活用連絡協議会顧問なども務める。

事例発表/パネルディスカッション パネリスト

もちづき せいじ
望月 精司氏 石川県小松市にぎわい交流部長

宮城県大崎市(旧古川市)生まれ。中央大学文学部史学科卒業。専門は日本考古学。1984年、小松市に学芸員として採用。以降、埋蔵文化財調査員として、小松市内の20カ所近い遺跡の発掘調査に従事。2011年度



からは、文化担当の所属長として、日本遺産をはじめ、歌舞伎や伝統文化、九谷焼など、小松の文化資源を活かした観光振興、地域発信に努めている。主な著書に、小学館『考古資料大観 3巻』、清文堂出版『日本海域歴史大系 第2巻』、真陽社『古代窯業の基礎研究』、吉川弘文館『モノと技術の古代史(陶芸編)』(いずれも共著)などがある。

事例発表/パネルディスカッション パネリスト

したなか たかひろ
下仲 隆浩氏 福井県小浜市産業部文化交流課
日本遺産・都市交流グループ 主幹

奈良大学文学部史学科卒業。1993年4月から小浜市役所に勤務。福井県内屈指を誇る小浜市の文化財保護行政全般、全国的にめずらしい食のミュージアム御食国若狹おばま食文化館の展示プロデュースに携わる。現在、2015年4月に日本遺産第1号に認定された「御食国若狹と鯖街道」の活用推進を担当。日本遺産「御食国若狹と鯖街道」の発信、活用推進を文化遺産政策専門員として産学官協働で推進。数多くのまちづくり市民団体にも在籍し、歴史や食文化を活かしたまちづくりを主導。専門は中世都市史と中近世流通史。



パネルディスカッション パネリスト

たぎざわ こずえ
滝沢 梢氏 有限会社瀧長商店 代表取締役
シェアアトリエアスト 代表

十日町市出身。100年続く染織材卸売業の四代目。2017年に事業承継した翌年、自社倉庫2階をリノベーションし、シェアアトリエアストをスタート。本業の経営と同時にシェアオフィス、コワーキングスペースの運営を行う



ほか、手仕事の観点から織物教室などの開催を通じて雪国文化を伝えるグループ「十日町手しごとや」に所属。また、地元アーティスト作品展の開催サポートや地域資源を生かしたオリジナルグッズ開発プロジェクト、スタートアップ拠点としての起業支援などを行なっている。

パネルディスカッション パネリスト

ゆげ ともこ
弓削 朋子氏 ゆげ店主

十日町市生まれ。学生時代はクロスカントリースキー選手。競技生活を送る中、体づくりと食の大切さを学ぶ。大学卒業後、料理の専門学校を経て、神奈川県北鎌倉の日本料理店「北鎌倉 鉢の木」などで修業。結婚、出産後はマクロビオティックや保育園の給食づくりも経験する。十日町に帰郷後、農家レストランの立ち上げに携わるほか、地元のリゾートホテルで会席料理を再度学びながら、郷土の食文化を探索。2021年3月郷土の食材を活かした会席料理を提供する「ゆげ」を開店。



パネルディスカッション コーディネーター

わたなべ まさのり
渡辺 正範氏 十日町市教育長



十日町市生まれ。青山学院大学文学部史学科卒業。1982年笹山遺跡発掘調査に参加、火焰型土器など出土品は1999年国宝に指定された。十日町市職員として広報、企画、観光、産業、総務などの分野を歴任し、2021年文化観光推進室長を経て現職。「大地の芸術祭」では2012年、2015年に作品「かざぐるまの道」シリーズ展開。地域活動では寄席や劇団、除雪ボランティアなどの設立・運営に関わる。著書：『越後妻有 おーい!昔』(特定非営利活動法人市民活動ネットワークひとサポ)ほか